

# 高田高校卒業生に対するアンケート調査

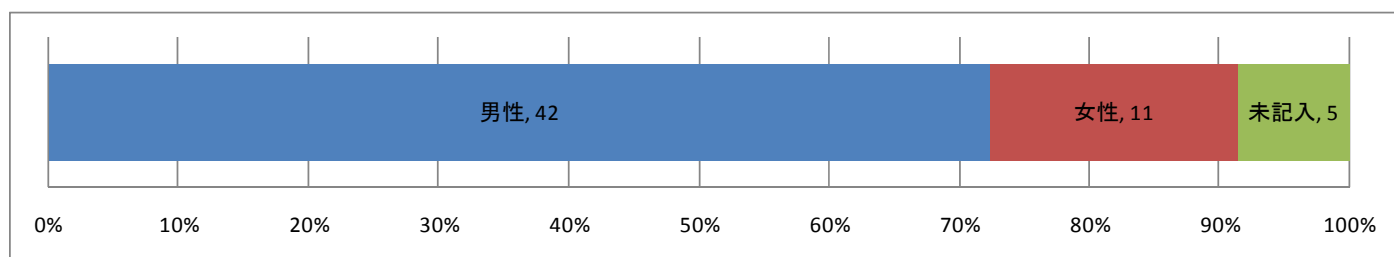
【実施日】：2010年6月18日

東京都内で行われた、高田高校同窓会にて配布を行いました。

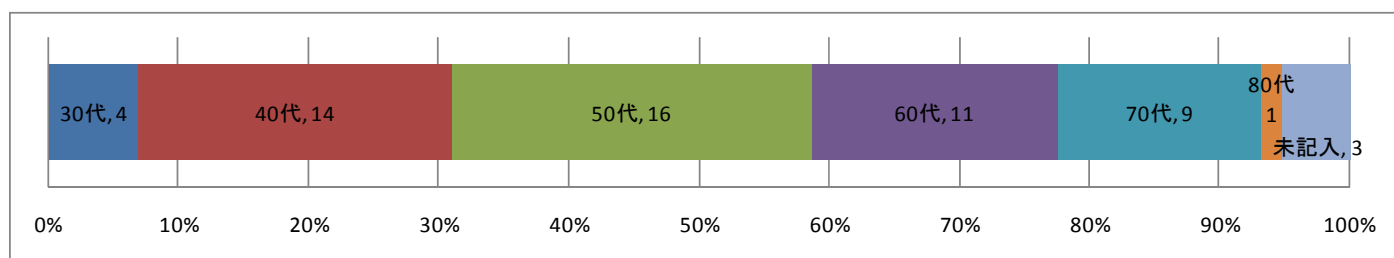
【方 式】：直接配布・郵送回収

## 【基本属性】

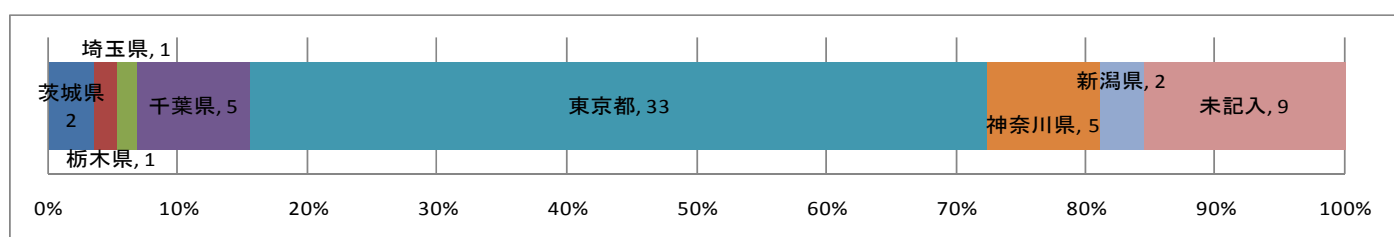
### ●性別



### ●年齢

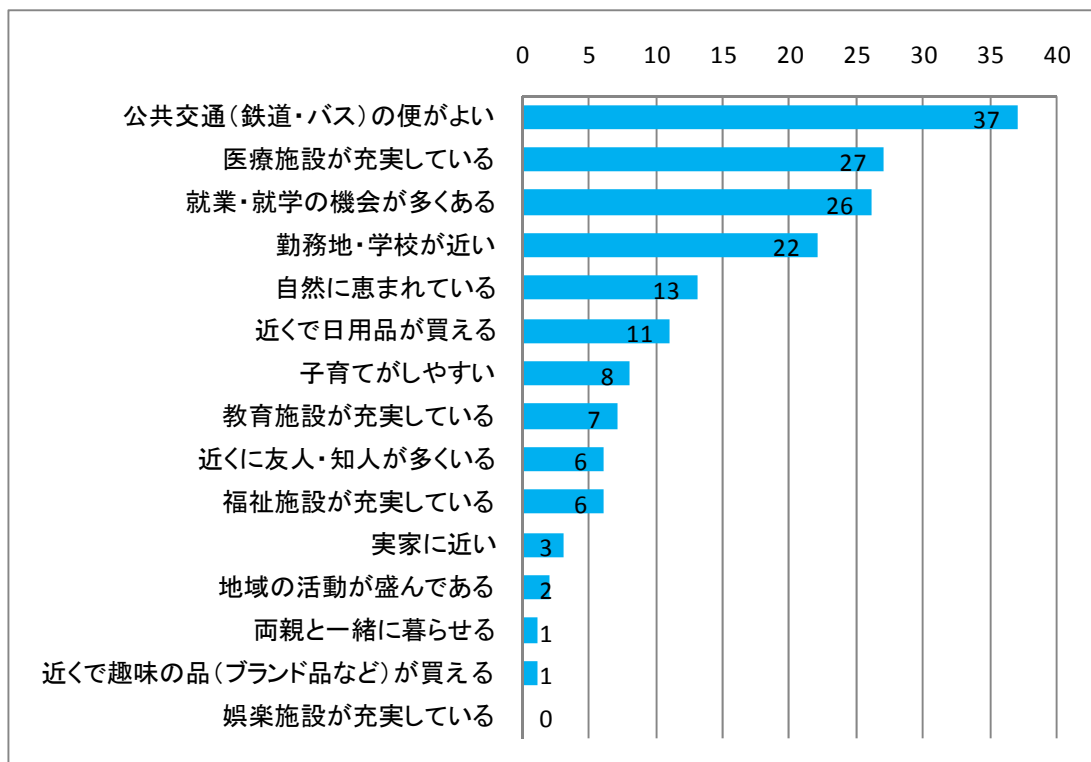


### ●現住所



アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

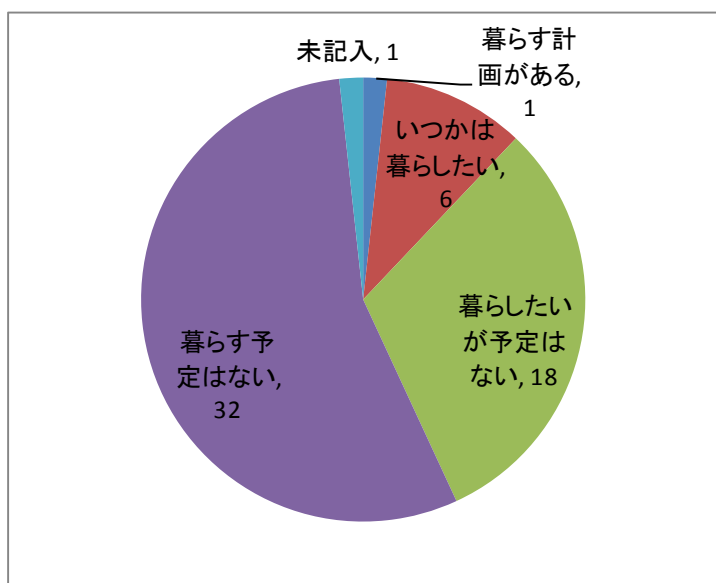
問1 住む場所を決めるときに必要なだと考えるものについて、当てはまる番号3つに〇をつけてください。



【その他】

- ・住宅コストが安いこと
- ・気象条件が良いこと
- ・閑静な住宅街
- ・地価が下落しないこと

問2 あなたは上越地域で暮らしたいとお考えですか。当てはまる番号1つに〇をつけてください。また、その理由をご記入ください。



【暮らす計画がある】

・65歳までに…実家の周辺に定住し、年金で生活する。65歳ならまだ体力もあり、遊べる。(男性・60代)

【いつかは暮らしたい】

- ・62歳までに…定年後、年金生活開始前に生活の本拠を移せばよいと思うから。(男性・50代)
- ・環境の変化に対応できるぎりぎりの年齢と考えるから。(男性・40代)
- ・都会との二重生活(男性・40代)
- …ほかに、70歳、80歳までに暮らしたいという意見が多数。

【暮らしたいが予定はない】

- ・私以外の家族は東京を離れることを希望していないので。
- ・離れてみて良いところだと思うが、いまさら戻れない。

- ・仕事の問題で住もうにも住めない。
- ・仕事がない。
- ・生まれ育った土地であり、並びに両親が住んでいることから暮らしたいが、自らも高齢化し、生きがいある活動、文化的な刺激、介護施設が不足している。また、日常の食事程度を買い物できる、歩いていける範囲の店舗が少なすぎるので不安です。
- ・高齢のため、故郷に帰っても身内の者の世代が変わり、友人・知人に助っ人になってもらえる状況にはなく、Uターンする要素はない。
- ・高齢の為。(74歳)
- ・自然が美しい、混雑していない、時の流れがゆったりしている、新鮮な食料品がある。
- ・家族の了解を得るに至っていない。
- ・居住施設が茅ヶ崎市にある。
- ・現在は子供の学校、主人の勤務などがあるので高田に暮らすのは難しいが老後はあり得るかも。
- ・自然が近くにあり、時間の流れがゆるやかなので、暮らしたいとは思いますが仕事がないであろう。
- ・上越市に適切な職がない。
- ・育ったところなので、いつかは暮らしたいとは思いますが家族の意向もあり予定が立たない。
- ・妻が反対する。

### 【暮らす予定はない】

- ・勤務地が離れている。首都圏の生活に慣れている。
- ・就業できそうにない。
- ・一家をあげて東京に移住し、その後に父母が死去、私自身が分骨することにより現自宅近くに墓を作った。
- ・東京都で働き住まいもあるため。
- ・住まいが糸魚川市なので上越地域にすむ予定はありませんが、もし実家が上越地域であれば選択肢2の「いつか暮らしたい」を選択し、63歳までに○をつけたい。
- ・東京は便利で、しかも人間関係の煩わしさが少ないので私にとっては住みやすい。他人に干渉したりされたりするのはあまり好きではない。
- ・東京に土地付き住宅を所有した。
- ・就業機会が多いとは言えず、十分な収入を得ることが難しいと思われるため。
- ・すでに上越をはなれて関東で就職もしており、帰る予定はありません
- ・定年後、新しい人間的ネット構築は不可能。老後は困難が予想される。
- ・冬季に赤倉に滞在することが多いので、想い出等は満喫できています。
- ・まず、天気が悪いこと。新幹線が走ろうが高速道路が出来ようが「天気」は変わらない！！
- ・3月末に定年を迎え、都内に自宅を所有しているため。
- ・就職先がないから。
- ・仕事がない、娯楽がない。
- ・東京のマンションで孫等と家族で暮らしているの。
- ・生活の拠点が無い。
- ・子供たちや孫達がこちらで世話になっているので。
- ・すでに東京に住んで50年以上になり、満足しているから。
- ・子供は千葉育ち。上越は出産時と親の出身地との認識。
- ・すでに、東京暮らしに慣れてきているため。

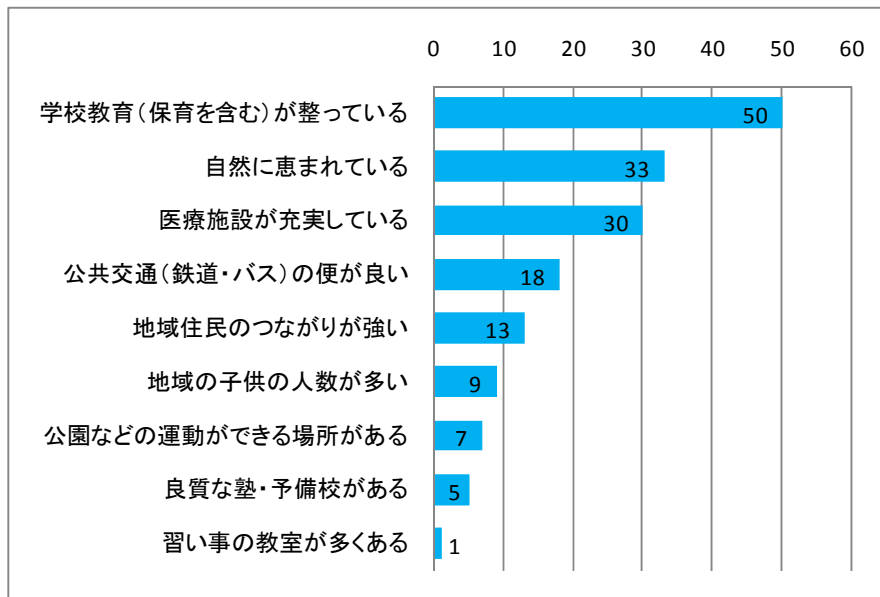
- ・特になし。
- ・仕事がない。(子供を入学させたい) 学校がない。
- ・雪がたくさん降るから。
- ・関東地区に就職したため。
- ・現在東京で働いており、上越地方にはそのジャンルの職業がないから。
- ・雪がたくさん降るから。

### 問3 上越地域に住む際に、不安・不満に思うことがありましたらご記入ください。

- ・就業の機会が少ないことが不安。
- ・近所に知人が少ない(これから知人作りに頑張る)。
- ・問2に書いたように近所づきあい等の煩わしさが好きではない。個人主義の都会が私には合っている。
- ・福祉施設や医療施設が充実していないように感じる。
- ・雪対策。
- ・特になし。
- ・冬の雪。
- ・マイカーを持たないと、或いは高齢で運転できないと、朝高田から直江津や長野に出るすべがない。移動する時に始発バス、電車の時間などの制約がある。
- ・仕事がないのでは。
- ・交通機関が不便。(特に降雪期)。高収入を得ることのできる職場が少ない。
- ・高齢のため世代が変わり、仲間の状況が変わっている。
- ・自分に適した仕事はあるか？
- ・老後を送るには雪対策等、夫婦(老人)二人の生活に耐えられない。
- ・医療、近隣との関係、文化施設。
- ・歩いていける範囲に食料品を買えるスーパー等がない。
- ・知人も少なくなり、お年寄りの親せきばかりになってしまった。
- ・就業機会が少なく、安定した収入が得られない。
- ・降雪。職場がない。子どもの教育環境。
- ・子どもの教育(特に大学が不足)。
- ・時々実家に帰りますが、不安・不満なし。
- ・冬季の生活。
- ・自然環境、特に雪と鉛色の空の日々が多いこと。
- ・仕事があるか。若いうちは良いのだが、年をとってから生活していくのが不安。雪が積もった時など。(地元の人にもマンションなど勧める方が来るそうですが)
- ・冬季の気候条件。
- ・老後に高田での生活で不安なのは、①医療施設が不十分、②冬の除雪作業などの負担があると思う。
- ・仕事が見つかるかどうか？また、車以外の交通手段がないこと。
- ・大都会に比べて専門医のいる病院が少ないこと。年をとるにつれ、冬の対策が大変となってきたこと。
- ・新幹線開通に伴うローカル線の運営。
- ・雪下ろし。
- ・歩けなくなった場合、通院。往診があるとよい。
- ・気質的に排他的ではないか心配。

- ・文化・娯楽の不足。
- ・自動車が基本的交通手段．年をとると運転が危険になる為、自家用車以外の交通手段が不安となる．
- ・文化的生活の欠如．（映画・演劇・サークル活動・スポーツ観戦等）
- ・冬の天候．関東の冬に慣れると日本海側の冬は耐え難い．妻，子どもの同意が得られない．
- ・交通の便が悪い。
- ・雪が降る．学校がない．仕事もない・交通の便が悪い・子供を育てるのに不向き。
- ・就職先があるかどうか。
- ・雪がたくさん降るから．

問4 子育てをするうえで、どのような環境が必要だと考えますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。

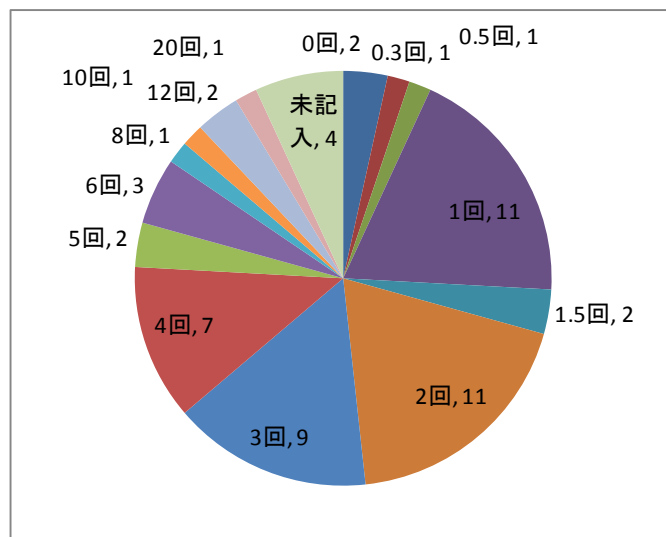


【その他】

- ・地域全体が子育てに理解があること。
- ・公立学校の質が維持されている。
- ・学童保育施設がある。

問5 上越地域への帰省について、お答えください。

【帰省頻度】（回/年）



## 【帰省時期と理由】

1月（12人）年末年始

2月（1人）母親に会うため

3月（1人）スキー

4月（9人）花見，母親の命日，同期会，墓参り，高田公園の花見，観光

5月（11人）山菜採りと鮮魚市，実家の維持・保守，田植の手伝い，両親とのコミュニケーション，仕込み作業，GW，自然散策，連休を上越で過ごす，良い季節だから

6月（3人）梅とり，息抜き，打合せ

7月（3人）高田高校同窓会，親戚に会うため

8月（37人）盆休み，墓参り，同窓会，母に会うため，地元の取材，お寺詣り，同級会（ゴルフ），クラス会，家族と会うため

9月（2人）墓参り，同窓会，遊び，お盆を避けての墓参り

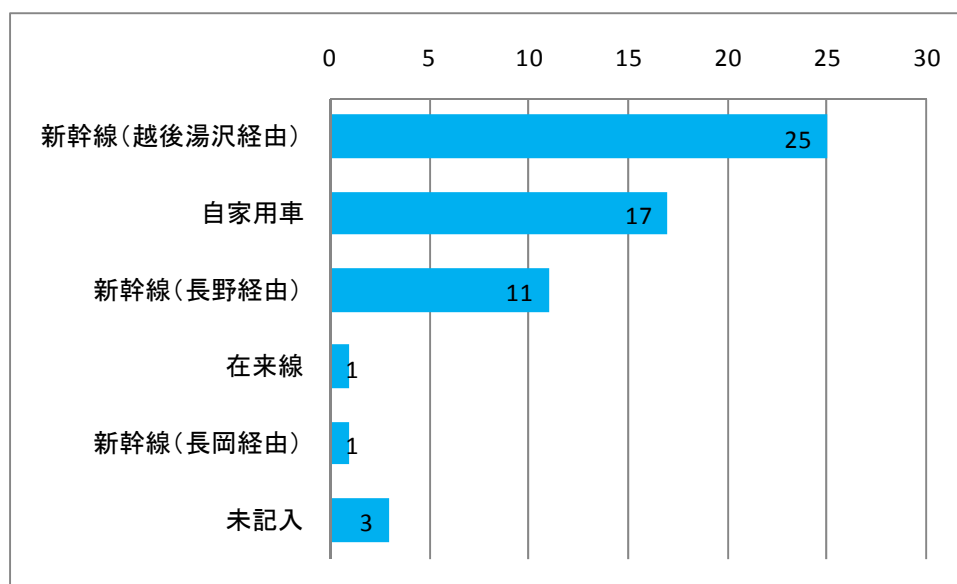
10月（7人）同窓会，母に会うため，村祭，同窓会，実家の保守，観光，クラス会など，同級生とゴルフ

11月（2人）行事参加，小学校同級会

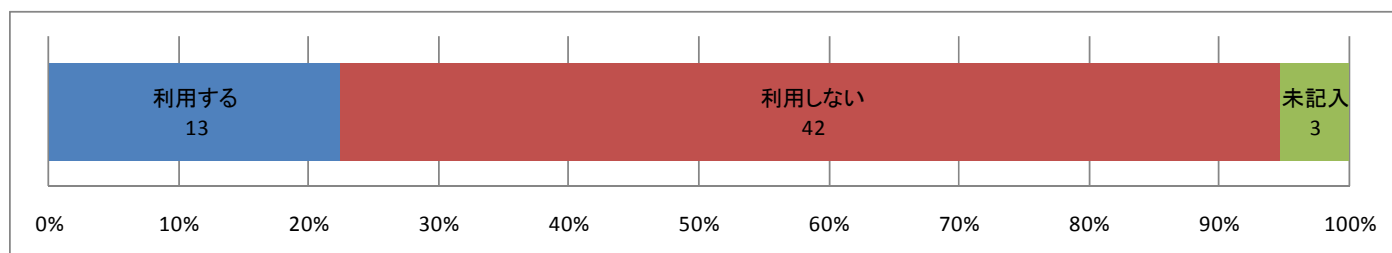
12月（11人）年末年始

そのほか・・・自分の都合で，親が介護施設に入所中，面会を兼ねて帰省．親に会いに，不定期に親に会いに行く．

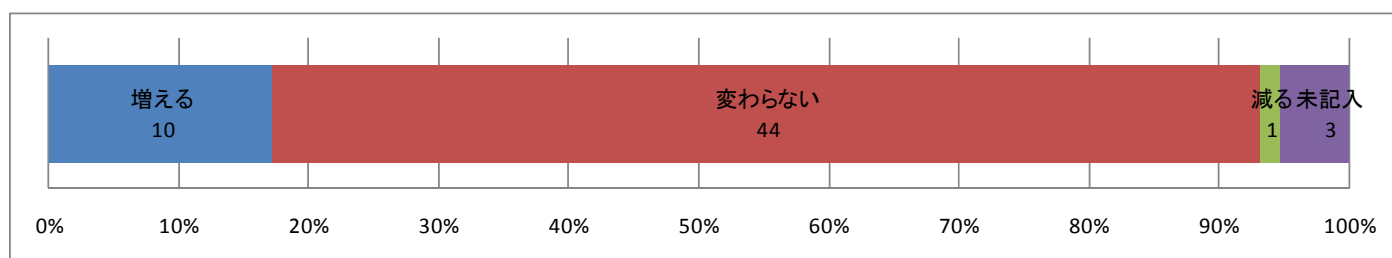
問6 上越地域へ帰省する際によく利用する交通機関について、当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。



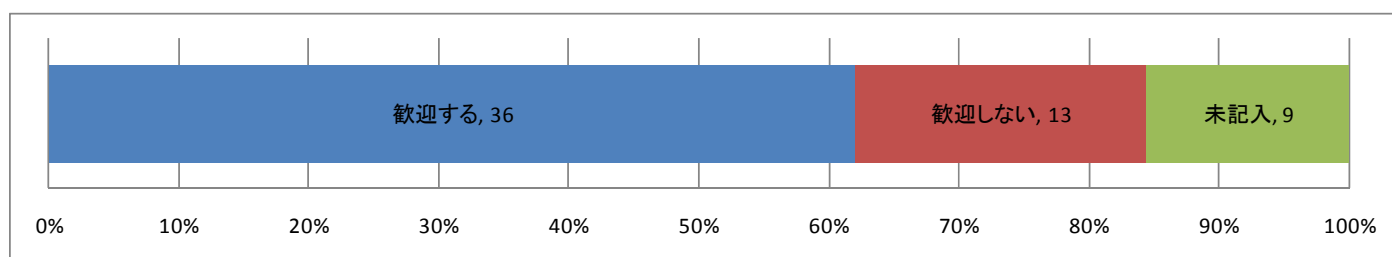
問7 北陸新幹線が延伸したら、帰省する際に北陸新幹線を利用しますか。当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。



問8 北陸新幹線が延伸したら、帰省する頻度は増えると思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問9 上越地域にとって、北陸新幹線の延伸は歓迎すべきことだと考えますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。



### 【歓迎する】

- ・移動時間が短くなる。(便利になる)
- ・地域の活性化につながるから。
- ・東京地域に住んでいる人の交通の便が良くなる
- ・東京（上越）への行き来が便利になるから。
- ・企業進出が予想されること。高速の公共交通機関の整備が必要だから。
- ・帰省。上京が格段にやすくなる。
- ・便利になる。
- ・高齢化していく自分が帰省する際にいつまでもマイカーに頼るわけにはいけないので、代替手段としては良いから歓迎する。
- ・延伸することで、双方向の旅客利便向上による上越地方の市場性アップを期待。(通過旅客だけではない)
- ・交通の便が良くなり(東京から)、観光客、ビジネス客が増加する機会になる。
- ・①帰省が楽になる、②活動については短時間での行動範囲が広がり、行楽関係においては目的地の選択範囲が広がる。
- ・今まで不便だったから。
- ・便利だから。
- ・上越地域の活性化につながると思う
- ・①関東方面からの観光客が増え、地元への経済効果が見込める。②地元から首都圏への流入が増え近距離となり、人的交流が盛んになる
- ・東京と近くに成る
- ・ただし、妙高地区への影響は皆無。元々の計画段階での政治力不足が悔やまれる。上越地域全体の活性化の模索願いたい。
- ・①時間短縮により、又乗り換えなしで気軽に人に会える(親子、友人) ②大好きな妙高・信州の車窓を楽しめる(でもトンネルばかりかな?)

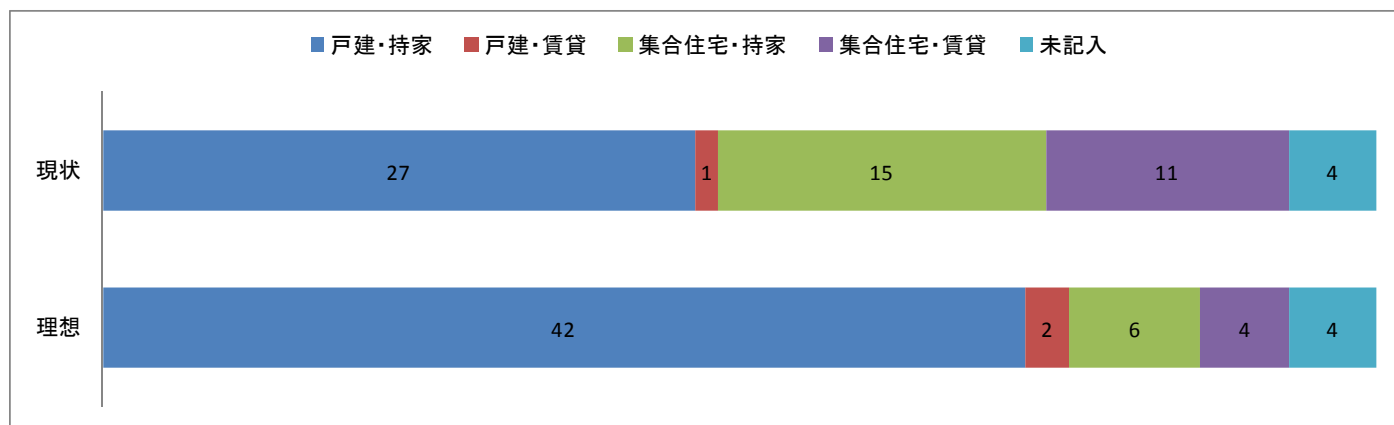
- ・妙高地区＝上越地区への観光客の増加。当地域と他地域の人との交流機会の増加。
- ・交通の原則は行き止まりでなく『網』である。
- ・アクセスが良くなる。ただ、ローカル線が心配。上越中心に暮らしている人に本当に便利かどうかは疑問。
- ・とにかく東京（関東地方）への所要時間は少ない程よい
- ・便利になりそう、近く感じることができる。
- ・夕方から帰省できる。
- ・東京より乗り換えなしで行けるので。
- ・帰省が気楽にできるようになる。
- ・首都圏との行き来が様々な面で増え、上越地域が活性化する可能性があるから。
- ・乗り換えがなくなる。
- ・観光客が増える。地域の活性化に役立つ。
- ・利便性が向上するため。
- ・あまり興味がないので、時間が短くなるのか、料金がどうなのか、という点も知らないのですが首都圏との時間的距離が縮まるのは便利になると思います。

### 【歓迎しない】

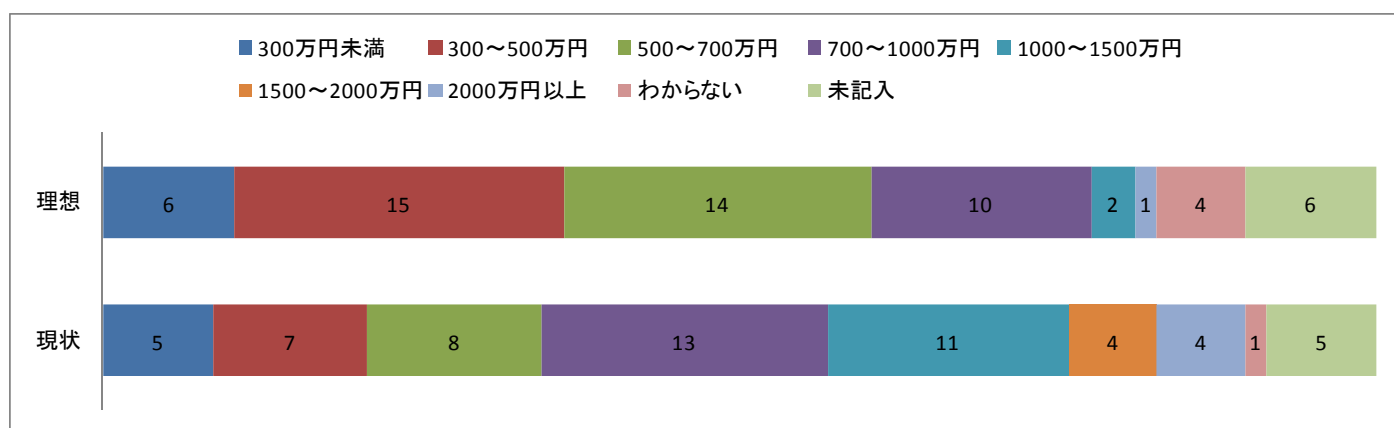
- ・上越新幹線とほくほく線の組み合わせでとくに不便を感じない。新幹線を延伸するよりも、地域内の公共交通網の整備・充実に資金を投下することの方が、地域の発展に有益だと思う。
- ・他に勝る求心力があれば歓迎だが今のところ他市に勝る求心力を感じない。そのような都市は交通の利便性が向上すると、より大きな都市に人も物も金も吸い上げられるだけだから。
- ・経済的にはプラスにならないと思う。
- ・通過地点になってしまう、そんなに早いものは私にとって不都合だから。
- ・駅の位置が中心から離れていて不便であるから。
- ・①新幹線駅から自宅へ不便となる（個人的には）②地域の活性化のためには目玉がなく、都市構造が複雑化し、ボヤーンとした地域になる。③新幹線駅完成後のプランが全く見えない、現状ではマイナス効果が大。④誰の為に延伸するのか、東京から便利になるだけの為に何故「地元負担金」があるのか。
- ・日本にとって必要ない。上越も日本の一部であり、公（共）資が不必要に使用されることには変わらない。
- ・妙高地域への交通の便が悪くなる。観光客も電車利用の場合には斑尾方面に流れると予想される。
- ・直江津及び高田の中心部を素通りするため、市の旧来の市街地、特に商店街の一層の空洞化が懸念されるため。
- ・東京-金沢間は便利になると思うが上越新幹線・ほくほく線の利用者が減り、寂れてしまうのでは…。
- ・高速鉄道を充実すればするほど、人々の視線が大都市に向かい、その結果地方都市は大都市のミニチュア作りに励み、ますます特徴のないものになっていくから。
- ・駅が遠くなり、ほくほく線の廃止で逆に不便となる（直江津地区、頸城区などにとっては）



問 1 0 現在住んでいる家の形態と、上越地域に住んだ場合の理想の家の形態について、当てまる番号それぞれ1つを選び、ご記入ください。



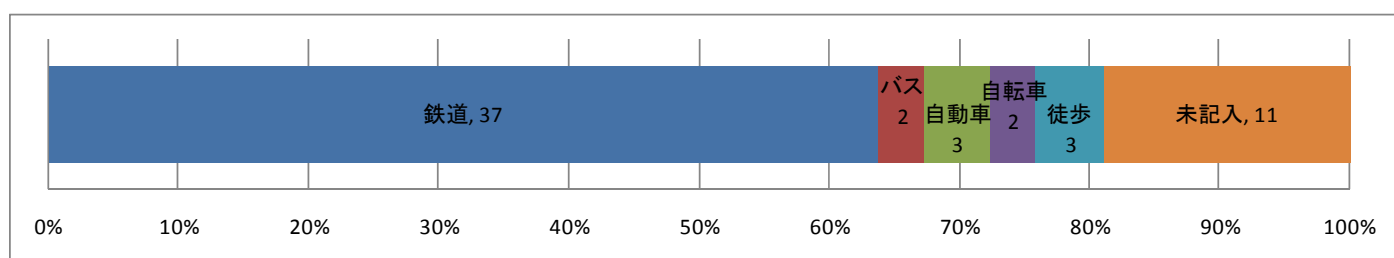
問 1 1 現在の年収（世帯年収）と上越地域に住んだ場合の年収の許容額（最低限の年収）について、当てまる番号それぞれ1つを選び、ご記入ください。



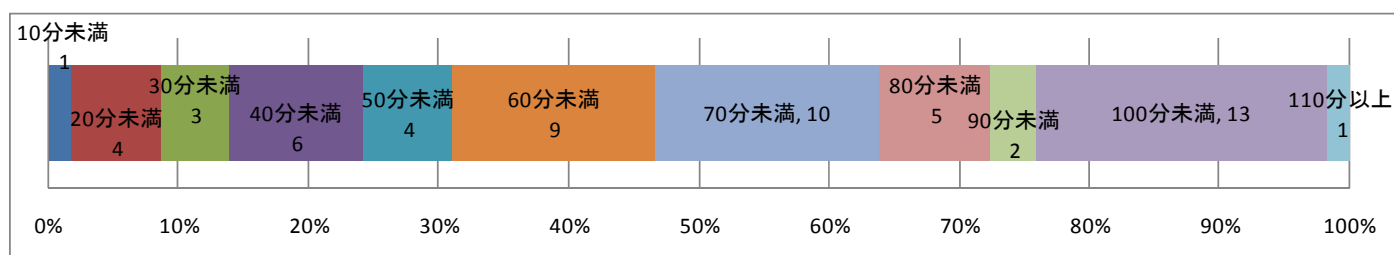
問 1 2 現在の職場までの主な交通手段について、ご記入ください。

また、上越地域に住んだ場合に許容できる最大の通勤時間について、ご記入ください。

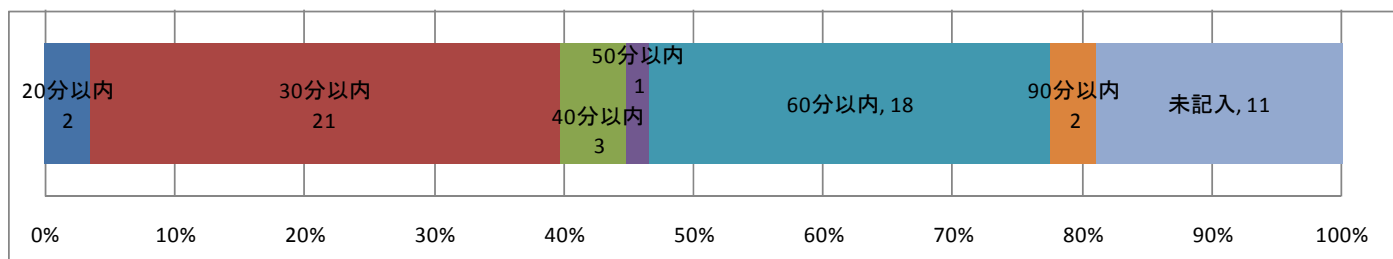
【現在利用交通機関】



【現在通勤時間】

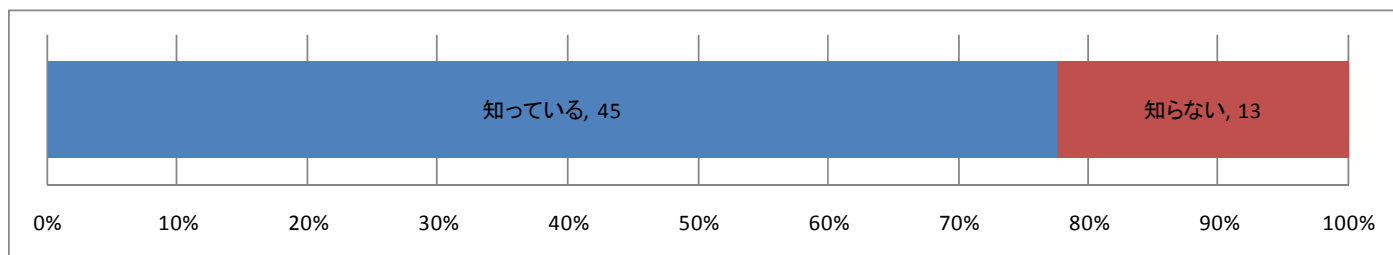


【上越での理想通勤時間】

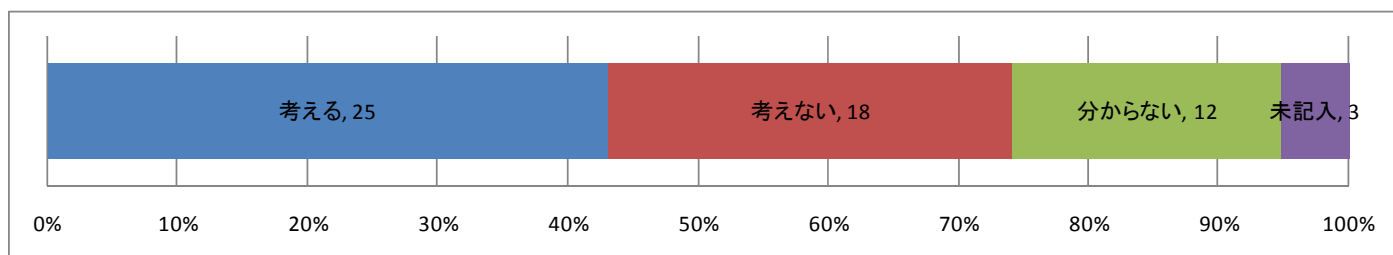


問 1 3 新幹線を利用しての通勤・通学について、お答えください。

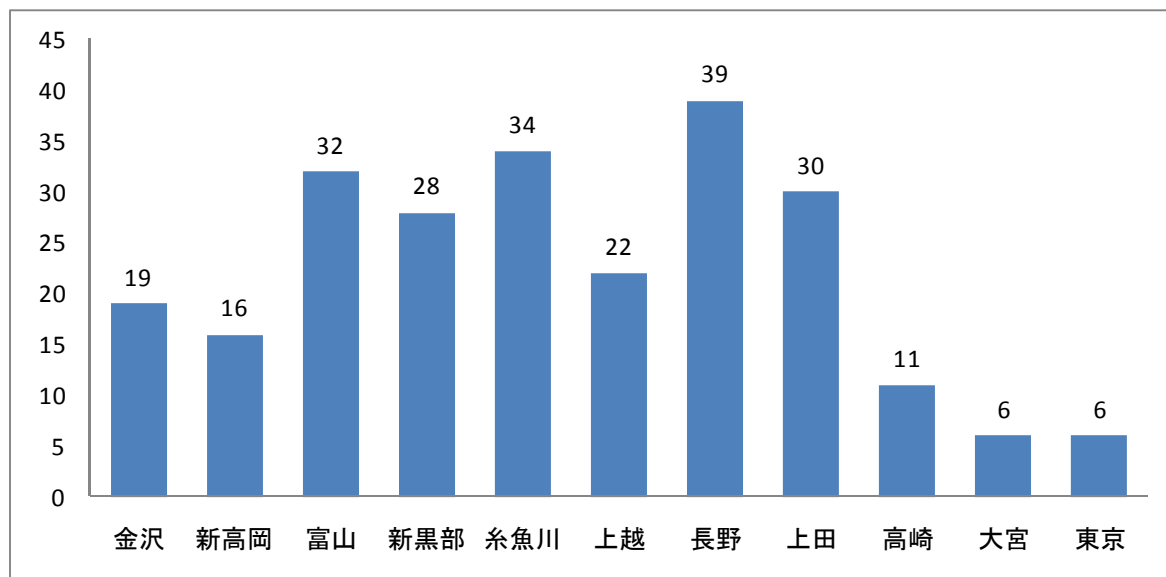
・現在、東北・上越新幹線等の既存の新幹線において、多数の通勤・通学者がいることを知っていましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



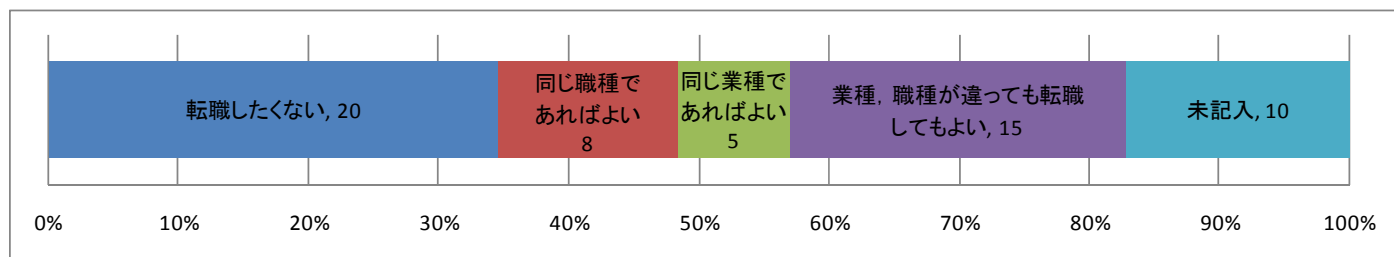
・現在の就業先に関わらず、会社から交通費の支給などの補助がある場合、新幹線を利用して通勤をしようと考えますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



・もし、上越駅(現. 脇野田駅周辺)から新幹線で通勤・通学をするなら、通勤はどこまでの範囲で可能ですか。当てはまる駅の番号 すべて に○をつけてください。

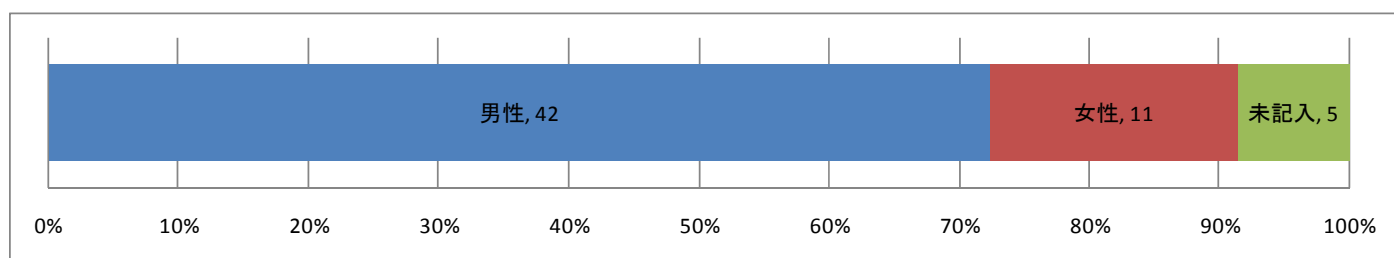


問 1 4 上越地域に住むことになった場合、現在の職業から転職してもよいと考えますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

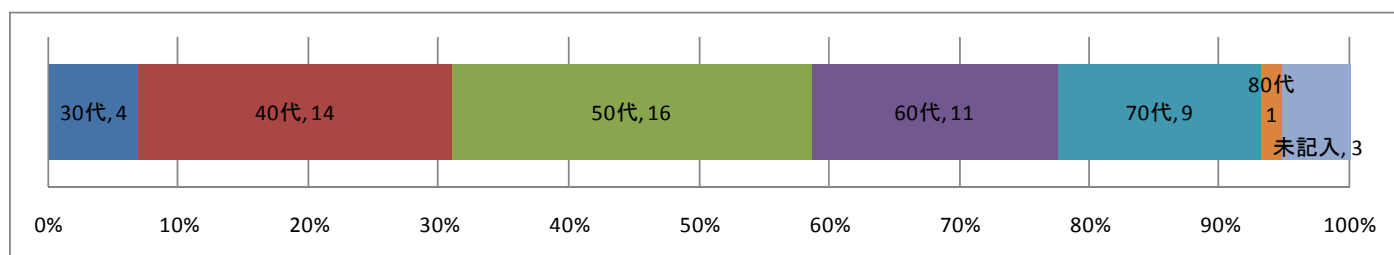


問 1 5 性別と年齢について当てはまる番号 1 つに○を、現住所についてはご記入ください。

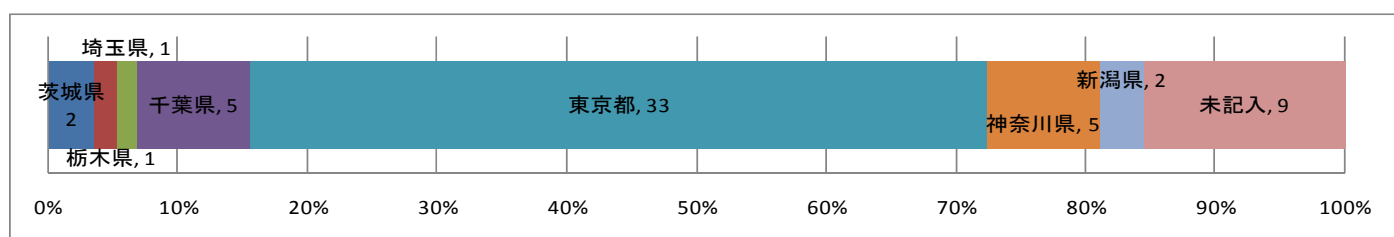
●性別



●年齢



●現住所

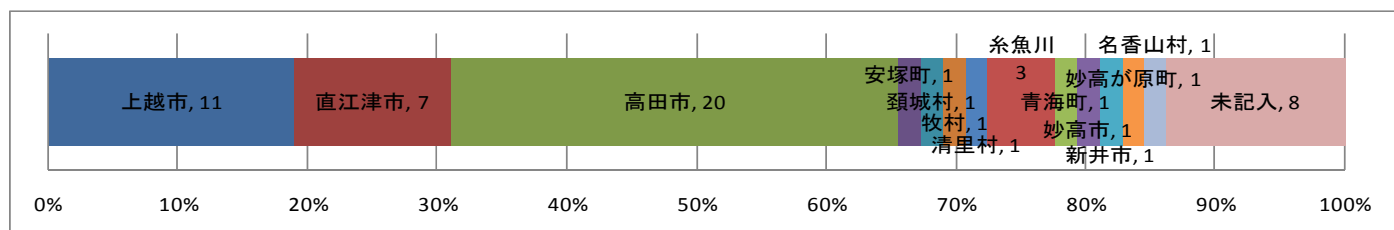


問 1 6 現在までの居住地歴について、ご記入ください。

●上越地域に何年間住んだことがありますか。

平均 17.6 年 (54 サンプル)・・・うち 36 サンプルが「18 年」と回答。

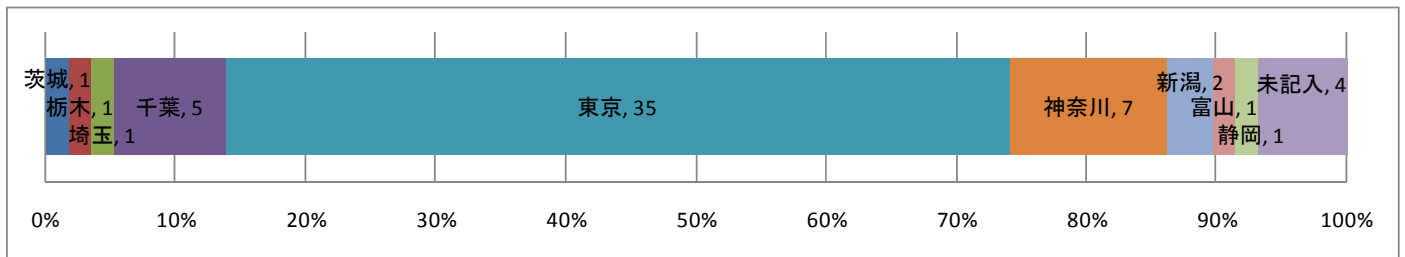
●上越地域に最も長く住んでいた市町村はどこですか。※合併前の旧市町村名でご記入ください。



●上越地域以外に、何年間住んだことがありますか。

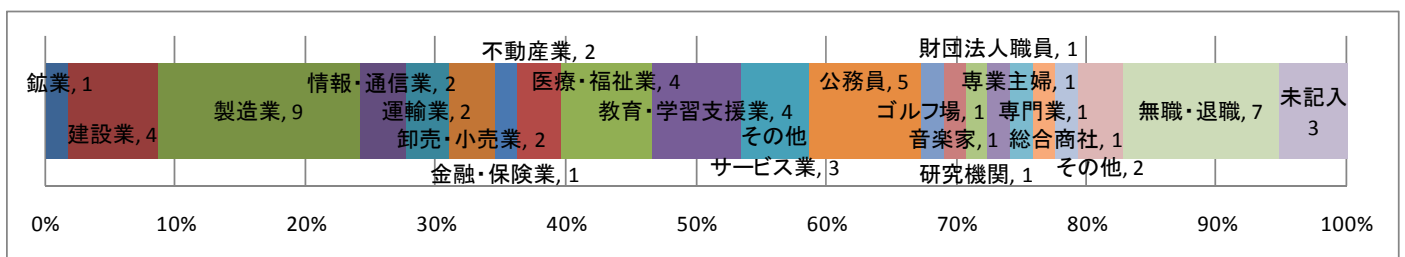
平均 38.2年 (52 サンプル)

●上越地域以外に、最も長く住んでいた都道府県名をご記入ください。

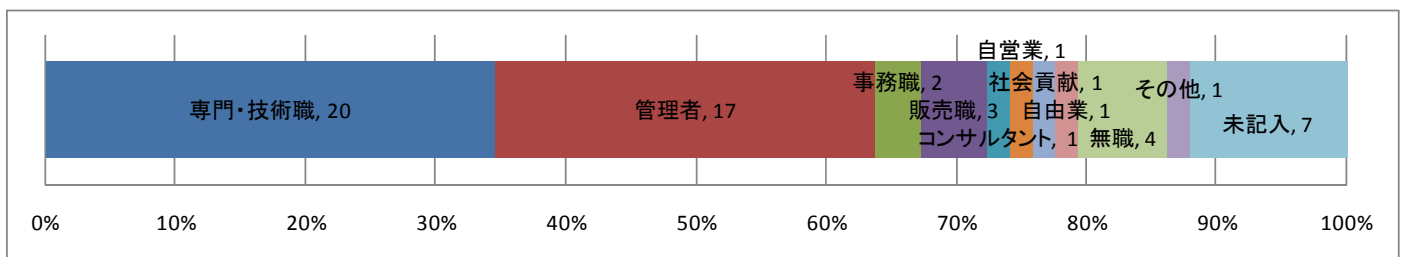


問 17 現在のお仕事について、お答えください。

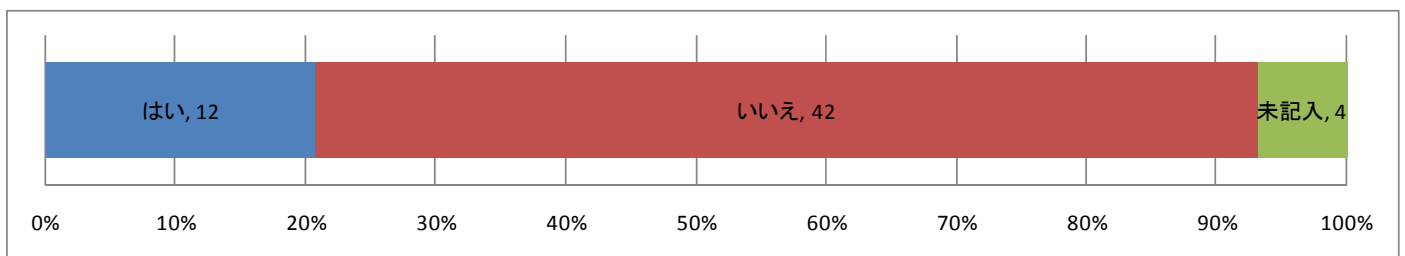
●業種について、当てはまる番号 1つに○をつけてください。



●職種について、当てはまる番号 1つに○をつけてください。



問 18 就職活動時、上越地域での就職を考えましたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。



【就職意思があった】

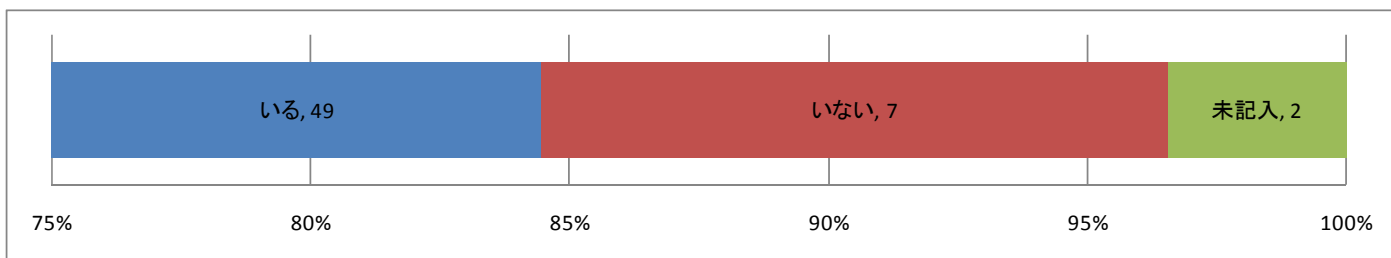
- ・当初は教員志望
- ・一人娘なので1度は帰って就職したが、2年で耐えきれず、東京に出てきて今にいたってます。
- ・地元で働きたいから
- ・20才台のころ大いに考えたが果たせなかった
- ・親元の近くにいた方が良いかな程度

- ・大学卒業したら戻ろうとおもっていたから、でも東京で就職が決まってしまいました。
- ・兄たちが、親と同居しないかも？との情報あり。学生時代に一度は上越地域で就職を考えた。
- ・生まれ育った地だから。
- ・実家があるから

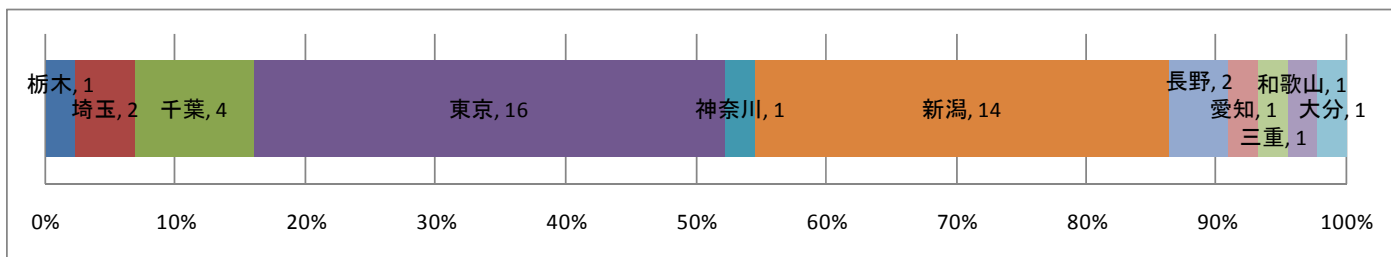
### 【就職意思がなかった】

- ・就業機会が少ないと考えたこと。継ぐべき家もなかったこと。
- ・希望する職種が見つからなかった
- ・業種が無かった
- ・東京へのあこがれ
- ・学生の時から今の職場で働くことが決まっていたか
- ・将来は戻りたいと思ったが就職は大学のある首都圏と考えていた。
- ・希望する就労先が上越になかった。
- ・就職できる職種が少ない。
- ・上越地域では、自分が活躍するには十分なフィールドがないと思えた。
- ・適当な企業がなかった。
- ・東京で生活したかった。
- ・自分に適した仕事がないため。
- ・結婚相手が東京で働いていた。
- ・大学の紹介に従った。
- ・学生時代から大手企業が目標でした。
- ・首都圏で仕事をしたいと決めていた。高度成長期でもあった。
- ・職場がない、雪国には住みたくない。
- ・仕事がない。
- ・上越には働く場所がない。
- ・当時は臨む就職先が存在しなかった。(知らなかった)
- ・その当時は県外での就職を望んでいた。
- ・専門職企業がない
- ・東京の大学を出たので、そのまま東京での就職を希望。上越には希望職はなかった。
- ・当時は希望するような職がなかった。
- ・大学卒業時には上越地方に専門分野の企業がなかったので考えませんでした。
- ・適当な職がない。
- ・適切な職業がなかった為。
- ・当時は専門性を生かせる職場がなかったから。
- ・職業研修の必要性から。
- ・同業種、職種がない。教員採用試験不採用。
- ・就職口がない。上越地域には住みたくなかった。

問19 配偶者はいらっしゃいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



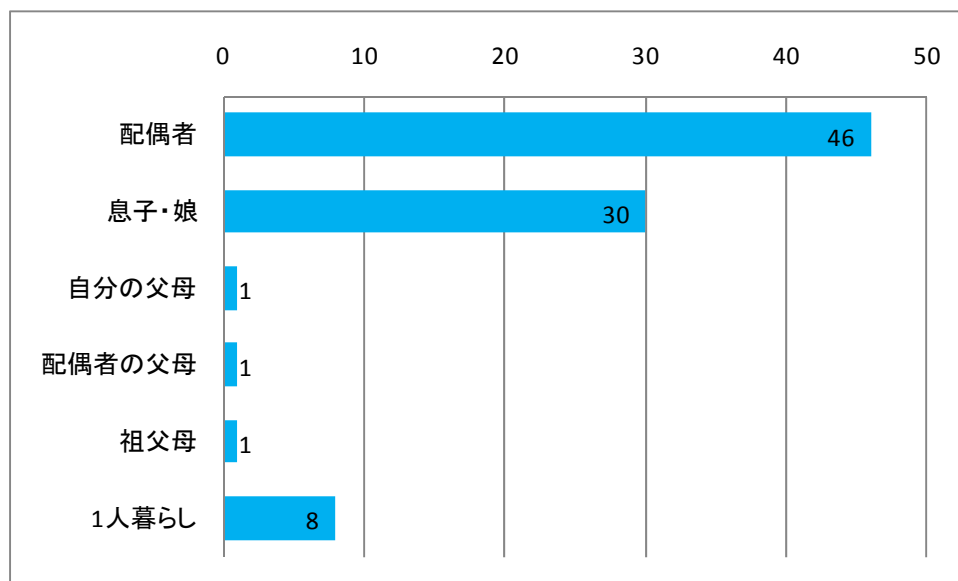
また、いらっしゃいましたら配偶者の出身地をご記入ください。



新潟県内の場合は、当てはまる番号1つに○をつけてください。

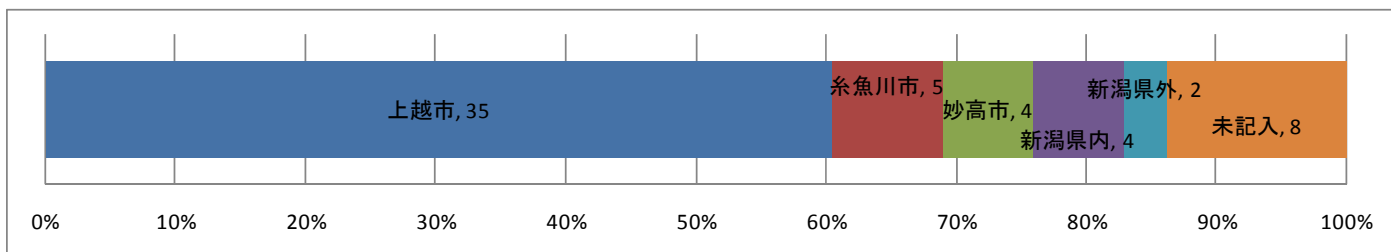
⇒上越, 11人 その他, 4人

問20 現在、どなたと同居していますか。一緒に暮らしている方すべてに○をつけてください。  
一人暮らしの方は[10. 一人暮らし]に○をつけてください。

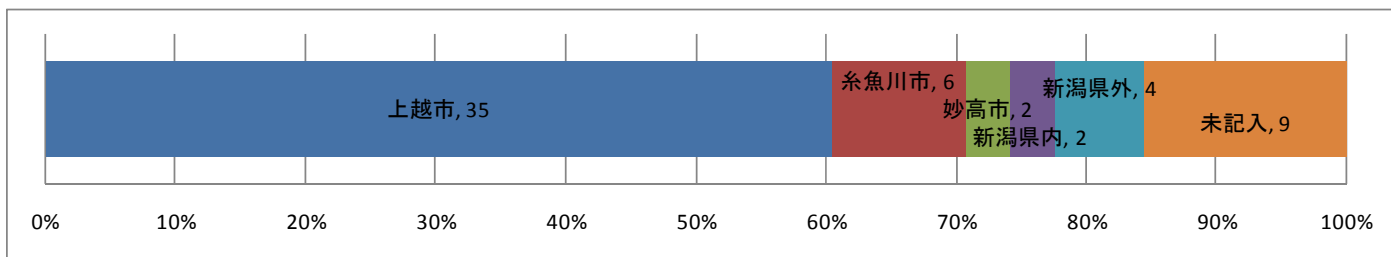


問21 ご両親の出身地について、当てはまる番号を選択し、ご記入ください。

●父親

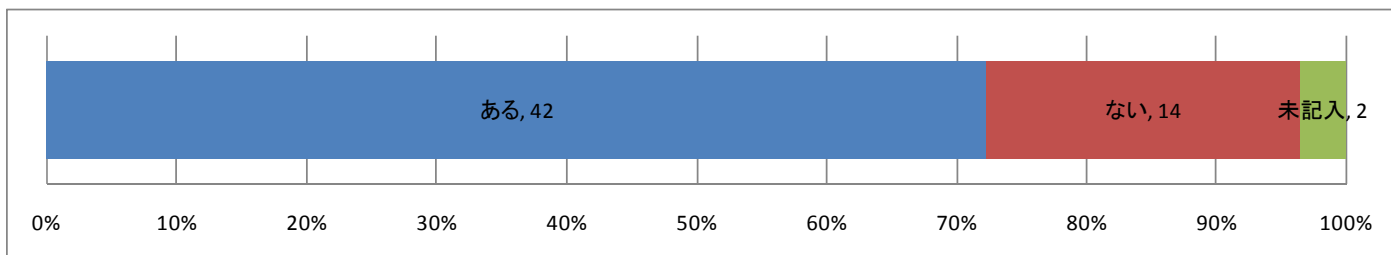


●母親

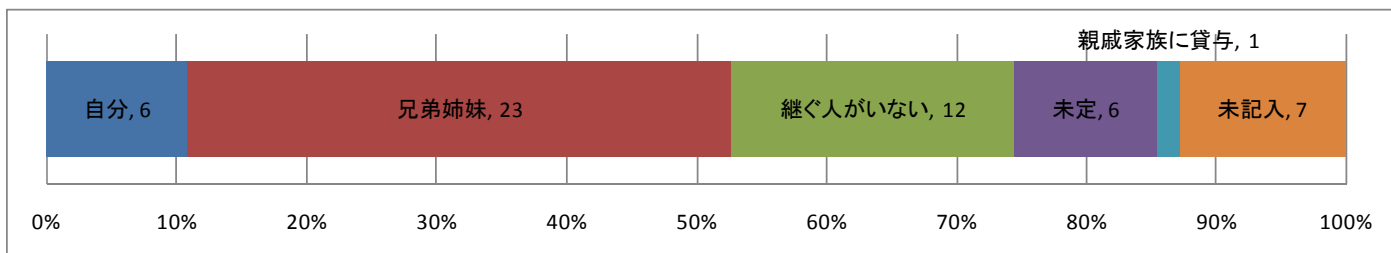


問22 現在のあなたのご実家について、お答えください。

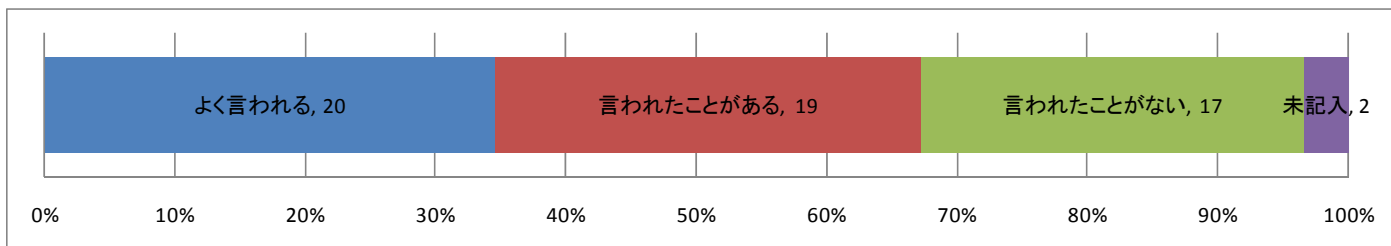
●ご実家は上越地域にありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



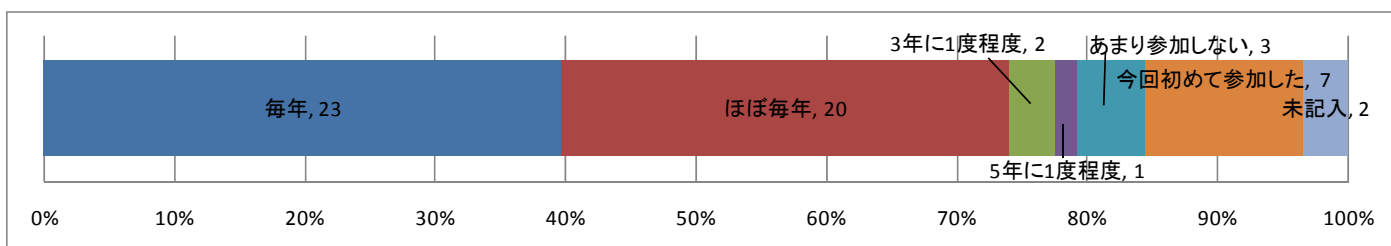
●どなたがご実家を継いでいますか。または継ぐ予定ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



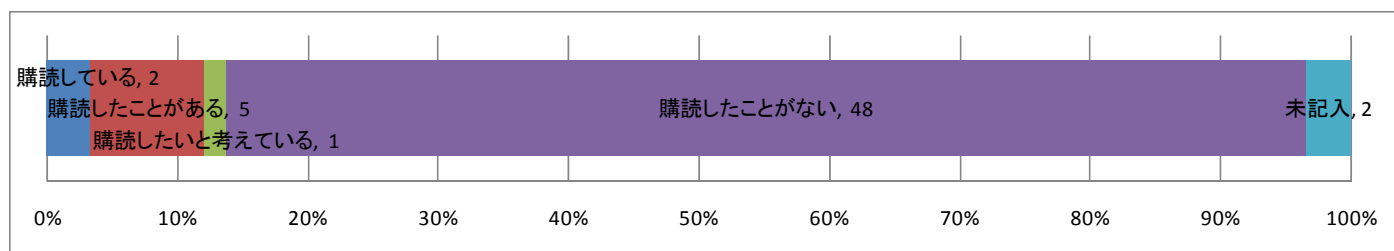
問23 周囲の方に「あなたは上越のことが好きですね」とよく言われることがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



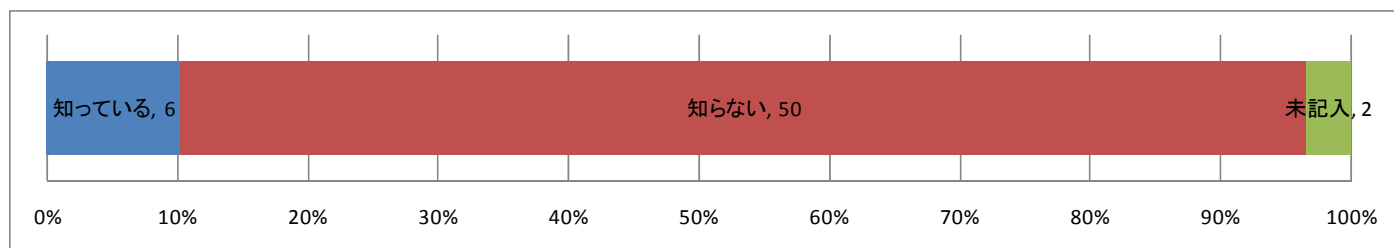
問24 高田高校祭(今回の東京でのOB会)への出席状況について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



問25 現在、上越タイムスを購読していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

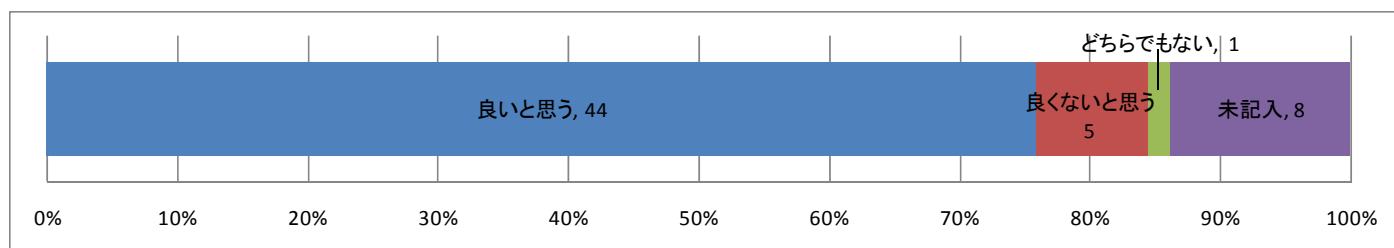


問26 上越市が実施している「ちょこっと上越」、「じっくり上越」といった体験プログラムがあることをご存知ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

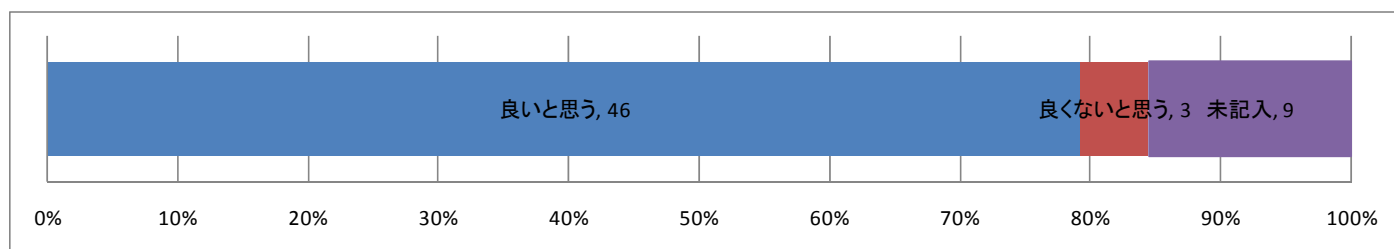


問27 上越地域の子どもと東京の子どもとの交流する機会を設けることは、よいと考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

●対上越のこども



●対東京のこども



【双方にとって良い理由】

- ・異なる環境を知ること、多様な考え方を知ること、知識の水準や多様性を知るとは相互に刺激となり、成長への糧となると思う。
- ・交流範囲が広いことは教育上良いこと。
- ・自分が子どもの頃、東京のいこと触れ合った体験を思うと、お互いにとっていい刺激であったと思う。
- ・交流は人材の育成になる。
- ・文化が違う子どもの交流は良いと思うから。特に東京の子どもに上越の文化を知らせることは良いと思う。
- ・一般論として他地域の子供と交流するのは良いことだと思う。
- ・早く子供のころに相互の考え方や意識がよく理解できていることは大人になってからもプラスになると思う。



- ・異文化コミュニケーションは人格形成・相互理解の源。
- ・ダイバシティを知ることは若いときから重要。
- ・その昔、高田・清水交歓があった。お互いの町が相手の違った文化に触れ、比較を学ぶことは意義深いと思う。
- ・「清水交歓」があった当時の良き伝統と博識向上。
- ・非日常体験は、子どもの精神的育成に大変効果が得られると考えられる。
- ・一番大切な教育の一環で在ると思います。
- ・環境の違いが分かり視野が広がる
- ・違う土地を理解する，良い体験ができる，視野が広がる
- ・小さな地域から，広い視点を持てる
- ・都市と地方の交流は子供の教育にとって大変重要。
- ・お互いに地域の特性を知り，理解しあうことは良いことである。
- ・東京との接点を見出せるから。
- ・お互いに無いもの有るものを確認しあえる。
- ・上越の区域が広くなり，上越のくらしもさまざまで東京での生活とあまり変わらないところが多いと思うが，自然環境を中心とした交流（上越に来る場合）は良い。又，上京し，地方に無いものを観たり，体験したりすることは良いと思う。
- ・文化交流は子供に限ることなく，あらゆる年齢層に対しても必須。
- ・多様性を体験する良い機会である。
- ・上越の子供には，東京のような経済，文化，教育などの面で田舎では想像できないようなものがあることを小さいころから知らしめることが重要。
- ・異文化を体験することは子供にとって貴重な体験だから。
- ・お互いの良い面，悪い面を知っておくのは良いことだと思うから・
- ・賛成だが，交流の中身による。
- ・小学生くらいで社会を知るため。昔，高田市と清水市の交換留学があった。  
互いに違いを知ることは，（互いを尊重する心あつてのことですが）自分を知ることにともつながり，成長にはよい刺激と考えるから。
- ・人との交流は良いことだ。
- ・かつて清水交歓という交流（ホームステイ）を経験した。このような交流を進めるべき。
- ・中学校の時，大瀧中と城北中の交流会があり，楽しく有意義であった。
- ・他の地域と交流すると刺激になっていい。学ぶことはたくさんあると思う。
- ・実際にその地に住んでいる人と分からないことがたくさんあり，その声を聞くことは非常にいいことだと思う。

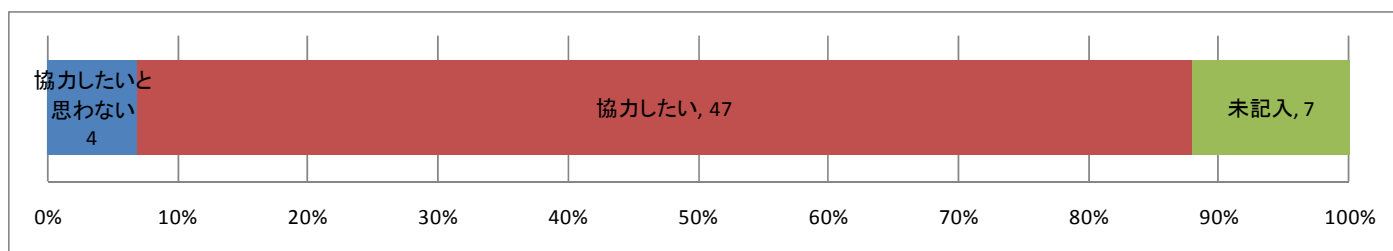
### 【上越のこどもにはよくなく，東京のこどもにとっていい理由】

- ・現代はテレビを通して都会・地方の様子はある程度知ることには出来ると思います。しかし現実とはマッチしない部分が多くて多々在る様に思います。地方の子供は背伸びし，都会の子供はギャップにとまどうように思います。地方の子供の純真さは大切にしたいと思います。

### 【双方にとってよくない理由】

- ・交流の目的が不明，子供が楽しいだけでは必要ない。
- ・子供が交流しても意味がない。大人が交流すべし。
- ・小さい時からは必要ないと思う。

問 2 8 上越地域の活性化に協力したいと考えますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 2 9 【自由記入欄】：上越地域を元気にできるようなアイデア、上越地域の魅力、お国自慢等  
 がございましたら、ご記入ください。

【協力したいと回答した人】

- ・「上杉謙信公の存在」, 「義の心」米沢に負けている。本家本元頑張れ。
- ・歴史
- ・季節ごとの上越地域めぐりツアーなど（トータルな）パターンを明示して宣伝したらどうか。上越地域（上越市・糸魚川市・新井市）を含めた観光ツアーまたは自家用車での観光紹介を計画してはどうか。
- ・上越地域では高田公園周辺がかなり整備されてきているが、例えば長野県の小布施に見られるような歴史的な町並み等を 1 つでも 2 つでも保存することにより、そうした街並みを保存した市町村を県全体のエリアでネットワーク化して、それを WEB で発信し、観光客を呼び込んでいくようにしたらどうか
- ・桜は日本三大夜桜の一つ。蓮の花は東洋一、妙高山は日本百名山の一つと優れたものを持っている上越と思います。その中で蓮の花は東洋一と言われながら、パッとしません。外堀の整備、囲いの情景の整備などを行い、蓮の花の売り込みをしてはどうかと考えます。これで、春・夏のイベントが出来上がるのではないかと。冬は雪もあまり降らず、継続的に売り込む要素は少なくなっているように思います。雪国特有の残念な現象です。
- ・文化の香りがする街である、人柄が良い、真面目・堅実・穏やか・我慢強い、食べ物がおいしい、自然が美しい
- ・上越特有の歴史、文化、観光をもっと PR すべきだと思います。（検診とか妙高の桜とか…だいたいやっているようですが）子供の夢を育てる何かが欲しいね。雪の体験、山遊び、米づくり体験など。甲子園で高田高校の効果をうたいたいね、活性化の特効薬だと思いますが…。みなさんの目的に合わない意見ばかりでごめんなさい。頑張ってください。
- ・"1. NHK の「天地人」などで、上越市の観光地が全国的に知られているので、もっと客を呼べるしかけを県・上越市をあげて実施すべきと考える。商売が下手である。  
 2. 県の特産物である酒、海や山の幸、米をもっと PR して、観光客を呼び全国的に販売できるスキームを県で考えてほしい。人気のある特産品を活用すべきであり、県内に活気と経済効果をもたらすはずである。"
- ・東京などに出張所を置いて拠点とする。上越発の情報が東京にとどかないから。逆に U ターン情報などもあった方がいいと思います。
- ・高田高校の同窓会（高田高校祭等）及び、東京での同期会（高田 50 期（51 期?））…東京開催の活動は活発で、人間関係を築いています。
- ・①行政（市職員・議員）の企画力と実行力。②上越／首都圏の人材・情報・交流の場づくり。③地場産業の確立（要マーケティング）上越産業の NO.1 は米作であることを忘れずに。米産業の高付加価値化の研究）。／新幹線は人・経済・情報の流れを創る基幹ツール。生かすも殺すも知恵次第。新幹線名称も“上越（ブランド）”を盛り込む運動が必要。
- ・IT を活用して教育や医療を充実させ、住み安い地域のロールモデルをつくる。経済も東京に依存せず、直接海外と結ぶ。農業を企業化し、付加価値の高い（有機など）産物をつくって消費者と直接結ぶ。
- ・地域を活性化するにはまず教育レベルを向上させることが必要だと思います。

- ・18歳まで高田で育ち、65歳まで東京で働きました。65歳から上越で年金をもらい定住します。所沢の自宅は子供に渡します。自分の子供も65歳になったら上越に帰って定住してほしいと思っています。ゴルフと畑をやるつもりです。
- ・上越市内でいろいろな年齢層で、新幹線のための協議会の情報あり。どのような活動をしているのでしょうか。
- ・地域活性化は呼びかけただけでは実践できない。一步一步実行しつつ実行の中から、もっと良いアイデアがでてくる。今、足りないのは、地道の活動を一つ一つ手がけてゆく活動母体が不足していることのように思える。学校、職場、地域、サークルどこにでも上越の活性化を話し合うネットワークが必要。話し合うだけではなく、実行に…。
- ・歴史、自然、町並み、上越の魅力は様々あると思います。それを遺すのは大切なことと思いますが、町並みなどは住んでいる方々の事情や経済的な問題もあり、大変な努力が必要です。すでに取り組みされている方々がいらっしゃると思いますが、もっと広がるとよいですね。どう頑張っても上越は上越。東京にはなれないのですから個性を大切にしなければ。まず経済的に活性化しないと難しいでしょうか。
- ・清酒がうまい。
- ・日本酒・米・魚が美味しい。上越地区の出身者は我慢強い。東京の子供のように小学、中学からもっと勉強すべき。勉強量は少ない。自分は新潟出身者ということでかなりバカにされたが、頑張ってきました。バカにされた方が頑張れる。
- ・何を持って「活性化」というかは疑問だが、帰省するたびにGMSやロードサイド型の大型店、パチンコ屋の繁栄ぶりにげんなりする。年々、民度が低くなっている気がする。

#### 【協力したいと思わないと回答した人、未回答だった人】

- ・食べ物等、東京でもっと売りだしてもよいのでは？おいしいものがたくさんあります。
- ・私は帰省の折、仏壇の中の先祖が江戸時代（文化・年号）から続いていることを知り、ずっと高田の人の子孫なのだと改めて思ったことがあります。上越地方の人は真面目に生活し、穏やかさ好み、深い雪の中（今は小雪）の中で春を待つ忍耐強さは良い点と思っていますが、自分や街をアピールする活力に欠けるのではないかと同郷の夫とも話しています。新幹線が通ってもそうした内的なことがどうなるのか心配していますが、若い皆さんのお力で活性化につながれば良いなあと思っています。
- ・旅行その他で、すこしばかり、海外の小都市も見てきたが、それぞれに特色のある街づくりを行い、住んでいる人も、それを楽しんでいるように思います。したがって、新しい都市づくりには、長い時間がかかるが大都市のミニチュア作りをすればする程、若い人たちはその地を離れていくように思う。平成の大合併など、行政の利便が第一で市民にとってその土地への愛着などますます薄れてしまうと思いますがどうですか。